聖書にあるイエス・キリストの
称号、呼び名

神と人との仲介者

神のひとり子　世の光　良い牧者

大祭司　さばき主　救い主

イエス・キリスト

イエス＝「神は救う」の意味

キリスト＝「救世主」の意味

神の小羊　聖なる方

永遠の神　すべての人の主　造り主

道・真理・いのち　私たちを弁護する方





唯一の神

唯一の神は天におられます。神は、天地万物を創られ、人をも創造されました。人の命とあらゆる恵みは神から来ています。

初めに、神が天と地を創造した。
神は人をご自身のかたちに創造された。

創世記 1章1、27節

この世界とその中にあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。神は、すべての人に、いのちと息と万物とをお与えになった方だからです。

使徒の働き 17章24～25節

主は永遠の神、地の果てまで創造された方。疲れることなく、たゆむことなく、その英知は測り知れない。

イザヤ書 40章28節



人の罪

人間の祖先が神に背いたため、人はすべて罪あるものとなりました。そして、死んだ後に罰を受けることが決まっています。

人は、あらゆる不義と悪とむさぼりと悪意とに満ちた者、ねたみと殺意と争いと欺きと悪だくみとでいっぱいになった者、陰口を言う者、そしる者、神を憎む者、人を人と思わぬ者、高ぶる者、大言壮語する者、悪事をたくらむ者、親に逆らう者、わきまえのない者、約束を破る者、情け知らずの者、慈愛のない者です。

ローマ人への手紙 1章29～31節

義人はいない。ひとりもいない。
善を行なう人はいない。ひとりもいない。

ローマ人への手紙 3章10、12節

人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている。

ヘブル人への手紙 9章27節





降誕

神は、人間を深く愛しておられるので、ご自分のひとり子イエス・キリストを人類の救い主として遣わされました。イエスは、神でありながら、人となって、この世界にお生まれになられました。

神は、実に、そのひとり子［イエス］をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

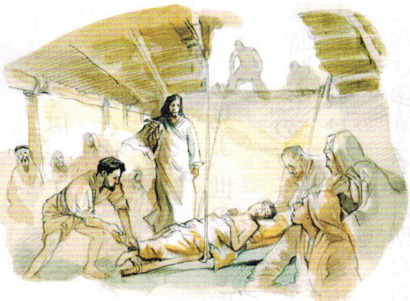
ヨハネの福音書 3章16〜17節

ダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。

ルカの福音書 2章11節

ことば［イエス］は人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

ヨハネの福音書 1章14節



福音

イエスは、三十歳の頃から、ユダヤの国の町や村を弟子たちと巡り、人々に天の国について話されました。また、権威ある言葉をもって悪霊どもを追い出し、病人たちを癒し、死んだ人を生き返らせました。

イエスはガリラヤ全土を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる病気、あらゆるわずらいを直された。

マタイの福音書 4章23節

イエスは言われた。「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」

マタイの福音書 4章17節

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

ヨハネの福音書 14章6節

「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」

ヨハネの福音書 8章12節



罪の贖い



宗教家たちは、イエスを妬み、死刑にするために、ローマ総督ピラトに引き渡しました。ピラトは、イエスが引き渡されたのは、憎しみのためだとよく分かっていましたが、宗教家たちの望みどおりに、イエスに死刑を宣告しました。

神は、罪を知らない方［イエス］を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあって、神の義となるためです。

コリント人への手紙 第二 5章21節

神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。

テモテへの手紙 第一 2章5、6節

十字架



人々は、イエスを苦しめ、十字架を背負わせ、エルサレムの城壁の外のゴルゴタという丘に引き立てて行きました。そこで、イエスの手と足に釘を打ち、十字架に磔にし、二人の強盗と一緒に処刑しました。

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」

ヨハネの福音書 1章29節

この方にあって私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。

エペソ人への手紙 1章7節

キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。

ヘブル人への手紙 10章14節

御子［イエス］を信じる者はさばかれない。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったので、すでにさばかれている。

ヨハネの福音書 3章18節



復活

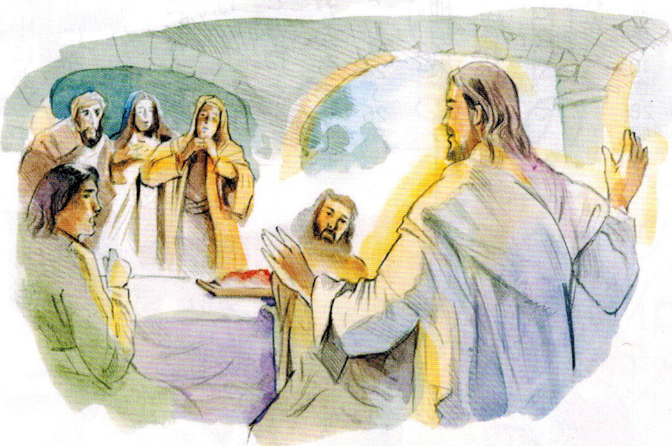
イエスは死んで、墓に葬られ、三日目によみがえられました。

イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

使徒の働き 1章3節

イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことがありません。このことを信じますか。」

ヨハネの福音書 11章25～26節



昇天

イエスはよみがえってから、四十日目に天に戻られました。今は神の御座に着いておられます。

それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。信じてバプテスマ[洗礼]を受ける者は、救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。」

マルコの福音書 16章15～16節

こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。

使徒の働き 1章9節

世の終わり

世の終わりには、困難な時が来ます。方々で、地震、飢饉、戦争などが起こり、また、悪がはびこります。

あなたがたは、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たのではありません。民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を惑わします。不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。

マタイの福音書 24章6～7、11～13節





再臨

イエスは近い将来、この世界に戻って来られます。イエスは、人類をさばき、神の新しい御国を打ち建てられます。

地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。人の子は大きなラッパの響きとともに、御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで、四方からその選びの民を集めます。

マタイの福音書 24章30～31節

主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

ペテロの手紙 第二 3章10節



審判

すべての人は、イエスのさばきの座の前に立たせられます。死んだ人々は皆、生き返らされ裁かれます。

私[弟子ヨハネ]は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また、書物がもう一つ開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行ないに応じてさばかれた。

黙示録 20章11～13節

こうして、この人たちは永遠の刑罰にはいり、正しい人たちは永遠のいのちにはいるのです。

マタイの福音書 25章46節

地獄

イエスによる罪の赦しを拒んだ人たちは、罪のままで永遠の地獄に定められます。

おくびょう[で信じない]者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行なう者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。

黙示録 21章8節

いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

黙示録 20章15節



天の国

自分の罪を認め、イエスの救いに頼った人たちは、永遠の天国に入ります。

御使いはまた、私に水晶のように光るいのちの水の川を見せた。それは神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れていた。川の両岸には、いのちの木があって、十二種の実がなり、毎月、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊［イエス］との御座が都の中にあって、そのしもべたちは神に仕え、神の御顔を仰ぎ見る。

黙示録 22章1～4節

神は人々とともに住み、人々は神の民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。

黙示録 21章3～4節



永遠のいのち

万物の造り主であり、万物の支配者であられる真の神を信じること、これがいのちです、永遠のいのちです。

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたし［イエス・キリスト］を信じる者は、永遠のいのちを持ちます。」

ヨハネの福音書 6章47節

「わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは決して滅びることがなく、また、だれもわたしの手から彼らを奪い去るようなことはありません。」

ヨハネの福音書 10章28節

御子［イエス］を信じる者は永遠のいのちを持つが、御子に聞き従わない者は、いのちを見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる。

ヨハネの福音書 3章36節

この方［イエス］こそ、まことの神、永遠のいのちです。

ヨハネの手紙 第一 5章20節

もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われます。

ローマ人への手紙 10章9節

イエス・キリストを信じてください

自分が神から離れた罪人であることを認め、イエス・キリストが十字架上であなたの罪の裁きを引き受け、死んで葬られ、よみがえられたことを信じてください。

この方「イエス」以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。

使徒の働き 4章12節

祈ってください

『神「イエス」さま、私は今まであなたから離れて生きてきました。この罪深い私をお赦しください。私が受けるべき罰を代わりに受けて、十字架にかかって死んでくださったこと、ありがとうございます。どうか、私があなたをもっと知ることができるように導いてください。アーメン』

（この通りの言葉でなくてもかまいません。大切なのは心からの悔い改めです。）

主を呼び求める者すべて、まことをもって主を呼び求める者すべてに主は近くあられる。

詩篇 145篇18節

聖書を読んでください

聖書は、聖い神が罪人を救う契約の書です。私たち人間の罪が赦され、神から永遠のいのちを与えられるという、この契約の福音が聖書全体の中心です。

聖書はあなたに知恵を与えて、キリスト・イエスに対する信仰によって救いを受けさせることができます。

テモテへの手紙 第二 3章15節

主は、あなたがたに対して忍耐しておられ、だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

ペテロの手紙 第二 3章9節

※記載されている聖句は、日本聖書刊行会発行の「新改訳聖書」から引用しています。

「コンサイス・バイブル」をプレゼント

（要約した聖書）

聖書を読んでみたい、
聖書を読んでも解らない
キリストへの信仰について知りたい
…このような方のために
聖書を読みやすくまとめた本です。



下記の住所またはホームページよりお申し込みください。

〒981-2153 宮城県伊具郡丸森町郵便局私書箱第3号

http://www.bdljapan.com

こちらからも申し込めます。

聖書ダウンロード

聴く ドラマ聖書

ドラマ仕立てのオーディオブック、
スマホアプリです。
無料でダウンロードできます。

https://graceandmercy.or.jp/app/

無料 聖書アプリ

パソコン、携帯、タブレットで
聖書が読めるアプリです。
広告もアプリ内課金もありません。

https://www.bible.com/ja/

BDL Bible Distribution League
聖書配布協力会
www.BDLjapan.com

※本会は、聖書の配布を唯一の目的としており、宗教団体や聖書研究会への勧誘、献金の要求、本、雑誌、物品の販売等は行っておりません。

※エホバの証人、モルモン教、統一教会とは関係はありません。